

3. 心理的・精神的自立とは、生活のために必要な介助を利用していても、自らが生活様式の決定を行えるようになることである。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		(5点) そう思う	(4点) どちらかといえば そう思う	(3点) どちらかといえば そう思わない	(2点) そう思わない	(1点) そう思わない		
身体障害	施設長	45 46.9%	37 38.5%	12 12.5%	0 0.0%	2 2.1%	96 100.0%	4.28
	職員	36 35.6%	47 46.5%	13 12.9%	3 3.0%	2 2.0%	101 100.0%	4.11
知的障害	施設長	42 33.3%	60 47.6%	16 12.7%	5 4.0%	3 2.4%	126 100.0%	4.06
	職員	33 24.6%	73 54.5%	18 13.4%	7 5.2%	3 2.2%	134 100.0%	3.94
精神障害	施設長	39 42.9%	38 41.8%	9 9.9%	5 5.5%	0 0.0%	91 100.0%	4.22
	職員	43 41.0%	43 41.0%	18 17.1%	1 1.0%	0 0.0%	105 100.0%	4.22
合計		238 36.4%	298 45.6%	86 13.2%	21 3.2%	10 1.5%	653 100.0%	4.12

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 85.4%、職員 82.2%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 2.1%、職員 5.0%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 81.0%、職員 79.1%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 6.3%、職員 7.5%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 84.6%、職員 81.9%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 5.5%、職員 1.0%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

4. 心理的・精神的自立とは、自己決定を待たず、専門職などが決定してしまうことをできるだけ避けることである。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		(5点) 「そう思う」	(4点) 「どちらかといえば そう思う」	(3点) 「どちらかといえば そう思わない」	(2点) 「そう思わない」	(1点) 「そう思わない」		
身体障害	施設長	17 17.7%	23 24.0%	30 31.3%	12 12.5%	14 14.6%	96 100.0%	3.18
	職員	15 15.0%	23 23.0%	23 23.0%	17 17.0%	22 22.0%	100 100.0%	2.92
知的障害	施設長	28 22.4%	42 33.6%	27 21.6%	14 11.2%	14 11.2%	125 100.0%	3.45
	職員	17 12.8%	43 32.3%	38 28.6%	13 9.8%	22 16.5%	133 100.0%	3.15
精神障害	施設長	22 24.2%	22 24.2%	23 25.3%	9 9.9%	15 16.5%	91 100.0%	3.30
	職員	17 16.2%	26 24.8%	30 28.6%	17 16.2%	15 14.3%	105 100.0%	3.12
合 計		116 17.8%	179 27.5%	171 26.3%	82 12.6%	102 15.7%	650 100.0%	3.19

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 41.7%、職員 38.0%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 27.1%、職員 39.0%であった。施設長は、「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かったが、職員は、「**そう思わない**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 56.0%、職員 45.1%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 22.4%、職員 26.3%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 48.4%、職員 41.0%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 26.4%、職員 30.5%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

5. 心理的・精神的自立とは、納得できないことに対して拒否する態度を示すことである。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		(1) と思う	(2) どちらかといえば思う	(3) どちらかといえば思う	(4) 思う	(5) そう思う		
身体障害	施設長	19 20.0%	32 33.7%	27 28.4%	8 8.4%	9 9.5%	95 100.0%	3.46
	職員	15 14.9%	33 32.7%	34 33.7%	13 12.9%	6 5.9%	101 100.0%	3.38
知的障害	施設長	21 16.8%	46 36.8%	38 30.4%	11 8.8%	9 7.2%	125 100.0%	3.47
	職員	21 15.7%	45 33.6%	42 31.3%	21 15.7%	5 3.7%	134 100.0%	3.42
精神障害	施設長	18 19.8%	39 42.9%	24 26.4%	6 6.6%	4 4.4%	91 100.0%	3.67
	職員	15 14.4%	35 33.7%	44 42.3%	8 7.7%	2 1.9%	104 100.0%	3.51
合計		109 16.8%	230 35.4%	209 32.2%	67 10.3%	35 5.4%	650 100.0%	3.48

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 53.7%、職員 47.5%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 17.9%、職員 18.8%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 53.6%、職員 49.3%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 16.0%、職員 19.4%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 62.6%、職員 48.1%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 11.0%、職員 9.6%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

6. 心理的・精神的自立とは、他者との依存的ではない良好な人間関係を構築することである。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		(5) 点 「そう思う」	(4) 点 「どちらかといえば思う」	(3) 点 「どちらかといえば思う」	(2) 点 「そう思わない」	(1) 点 「そう思わない」		
身体障害	施設長	25 26.3%	42 44.2%	22 23.2%	2 2.1%	4 4.2%	95 100.0%	3.86
	職員	15 14.9%	46 45.5%	33 32.7%	5 5.0%	2 2.0%	101 100.0%	3.66
知的障害	施設長	24 19.2%	63 50.4%	26 20.8%	5 4.0%	7 5.6%	125 100.0%	3.74
	職員	17 12.8%	56 42.1%	37 27.8%	19 14.3%	4 3.0%	133 100.0%	3.47
精神障害	施設長	27 29.7%	34 37.4%	20 22.0%	8 8.8%	2 2.2%	91 100.0%	3.84
	職員	15 14.4%	43 41.3%	33 31.7%	11 10.6%	2 1.9%	104 100.0%	3.56
合 計		123 19.0%	284 43.8%	171 26.3%	50 7.7%	21 3.2%	649 100.0%	3.67

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 70.5%、職員 60.4%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 6.3%、職員 6.9%であった。ともに「そう思う」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 69.6%、職員 54.9%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 9.6%、職員 17.3%であった。ともに「そう思う」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 67.0%、職員 55.8%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 11.0%、職員 12.5%であった。ともに「そう思う」という傾向の回答割合が高かった。

7. 心理的・精神的自立とは、家族へ依存的にならないことである。

障害種別	職種	回 答					合 計	平均得点
		(1)点 「そう思う」	(2)点 「どちらかといえば そう思う」	(3)点 「どちらかといえば そう思わない」	(4)点 「どちらかといえば そう思わない」	(5)点 「そう思わない」		
身体障害	施設長	12 12.6%	42 44.2%	25 26.3%	8 8.4%	8 8.4%	95 100.0%	3.44
	職員	10 9.9%	31 30.7%	37 36.6%	13 12.9%	10 9.9%	101 100.0%	3.18
知的障害	施設長	17 13.6%	45 36.0%	42 33.6%	11 8.8%	10 8.0%	125 100.0%	3.38
	職員	5 3.8%	33 25.0%	64 48.5%	23 17.4%	7 5.3%	132 100.0%	3.05
精神障害	施設長	14 15.4%	26 28.6%	33 36.3%	13 14.3%	5 5.5%	91 100.0%	3.34
	職員	9 8.7%	30 28.8%	40 38.5%	12 11.5%	13 12.5%	104 100.0%	3.10
合 計		67 10.3%	207 31.9%	241 37.2%	80 12.3%	53 8.2%	648 100.0%	3.24

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 56.8%、職員 40.6%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 16.8%、職員 22.8%であった。ともに「そう思う」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 49.6%、職員 28.8%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 16.8%、職員 22.7%であった。ともに「そう思う」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 44.0%、職員 37.5%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 19.8%、職員 24.0%であった。ともに「そう思う」という傾向の回答割合が高かった。

Ⅲ. 経済的自立について

1. 経済的自立とは、安定した職業に就くことによって、経済的に他に依存しないことである。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		(5) 点 「そう思う」	(4) 点 「どちらかといえば そう思う」	(3) 点 「どちらかといえば そう思わない」	(2) 点 「そう思わない」	(1) 点 「そう思わない」		
身体障害	施設長	23 24.2%	22 23.2%	20 21.1%	15 15.8%	15 15.8%	95 100.0%	3.24
	職員	15 14.9%	29 28.7%	24 23.8%	17 16.8%	16 15.8%	101 100.0%	3.10
知的障害	施設長	23 18.4%	43 34.4%	34 27.2%	8 6.4%	17 13.6%	125 100.0%	3.38
	職員	22 16.3%	43 31.9%	39 28.9%	16 11.9%	15 11.1%	135 100.0%	3.30
精神障害	施設長	13 14.3%	12 13.2%	26 28.6%	20 22.0%	20 22.0%	91 100.0%	2.76
	職員	4 3.8%	14 13.5%	33 31.7%	26 25.0%	27 26.0%	104 100.0%	2.44
合 計		100 15.4%	163 25.0%	176 27.0%	102 15.7%	110 16.9%	651 100.0%	3.06

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 47.4%、職員 43.6%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 31.6%、職員 32.7%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 52.8%、職員 48.1%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 20.0%、職員 23.0%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 27.5%、職員 17.3%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 44.0%、職員 51.0%であった。ともに「**そう思わない**」という傾向の回答割合が高かった。

2. 経済的自立とは、経済的な安定のために社会保障制度を適切に利用することである。

障害種別	職種	回 答					合 計	平均得点
		(1) と思う	(2) どちらかといえば思う	(3) どちらかといえば思う	(4) 思う	(5) そう思う		
身体障害	施設長	21 22.1%	41 43.2%	19 20.0%	8 8.4%	6 6.3%	95 100.0%	3.66
	職員	16 15.8%	43 42.6%	31 30.7%	8 7.9%	3 3.0%	101 100.0%	3.60
知的障害	施設長	17 13.6%	58 46.4%	28 22.4%	11 8.8%	11 8.8%	125 100.0%	3.47
	職員	20 14.8%	66 48.9%	35 25.9%	11 8.1%	3 2.2%	135 100.0%	3.66
精神障害	施設長	27 29.7%	36 39.6%	21 23.1%	6 6.6%	1 1.1%	91 100.0%	3.90
	職員	18 17.3%	48 46.2%	27 26.0%	8 7.7%	3 2.9%	104 100.0%	3.67
合 計		119 18.3%	292 44.9%	161 24.7%	52 8.0%	27 4.1%	651 100.0%	3.65

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 65.3%、職員 58.4%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 14.7%、職員 10.9%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 60.0%、職員 63.7%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 17.6%、職員 10.4%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 69.2%、職員 63.5%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 7.7%、職員 10.6%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

3. 経済的自立とは、就労できなくとも、生活費を自主的に管理できるようになることである。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		(1) (甲) そう思う	(4) (乙) そう思う どちらかといえば	(3) (丙) どちらかといえば そう思う	(2) (丁) どちらかといえば そう思わない	(1) (戊) そう思わない		
身体障害	施設長	23 24.0%	33 34.4%	20 20.8%	13 13.5%	7 7.3%	96 100.0%	3.54
	職員	19 18.8%	47 46.5%	23 22.8%	7 6.9%	5 5.0%	101 100.0%	3.67
知的障害	施設長	17 13.6%	44 35.2%	35 28.0%	16 12.8%	13 10.4%	125 100.0%	3.29
	職員	8 5.9%	41 30.4%	48 35.6%	26 19.3%	12 8.9%	135 100.0%	3.05
精神障害	施設長	27 29.7%	39 42.9%	15 16.5%	7 7.7%	3 3.3%	91 100.0%	3.88
	職員	24 23.1%	43 41.3%	20 19.2%	10 9.6%	7 6.7%	104 100.0%	3.64
合 計		118 18.1%	247 37.9%	161 24.7%	79 12.1%	47 7.2%	652 100.0%	3.48

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 58.3%、職員 65.3%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 20.8%、職員 11.9%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 48.8%、職員 36.3%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 23.2%、職員 28.1%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 72.5%、職員 64.4%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 11.0%、職員 16.3%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

IV. 社会的自立について

1. 社会的自立とは、自分自身を取り巻く人々や社会から、価値ある者として受け入れられるようになることである。

障害種別	職種	回 答					合 計	平均得点
		(1)点 「そう思う」	(2)点 「どちらかといえば そう思う」	(3)点 「どちらかといえば そう思わない」	(4)点 「どちらかといえば そう思わない」	(5)点 「そう思わない」		
身体障害	施設長	25 26.3%	27 28.4%	23 24.2%	7 7.4%	13 13.7%	95 100.0%	3.46
	職員	12 11.9%	19 18.8%	44 43.6%	14 13.9%	12 11.9%	101 100.0%	3.05
知的障害	施設長	27 22.0%	32 26.0%	35 28.5%	12 9.8%	17 13.8%	123 100.0%	3.33
	職員	17 12.7%	43 32.1%	52 38.8%	11 8.2%	11 8.2%	134 100.0%	3.33
精神障害	施設長	18 19.8%	24 26.4%	28 30.8%	15 16.5%	6 6.6%	91 100.0%	3.36
	職員	4 3.9%	20 19.6%	46 45.1%	20 19.6%	12 11.8%	102 100.0%	2.84
合 計		103 15.9%	165 25.5%	228 35.3%	79 12.2%	71 11.0%	646 100.0%	3.23

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 54.7%、職員 30.7%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 21.1%、職員 25.7%であった。ともに「そう思う」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 48.0%、職員 44.8%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 23.6%、職員 16.4%であった。ともに「そう思う」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 46.2%、職員 23.5%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 23.1%、職員 31.4%であった。施設長は、「そう思う」という傾向の回答割合が高かったが、職員は、「そう思わない」という傾向の回答割合が高かった。

2. 社会的自立とは、自らの存在を価値ある者として感じていることである。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		(5) 思う そう思う	(4) 思う どちらかといえば	(3) 思う どちらかといえば	(2) 思う どちらかといえば	(1) 思う ない		
身体障害	施設長	32 33.7%	30 31.6%	22 23.2%	6 6.3%	5 5.3%	95 100.0%	3.82
	職員	18 17.8%	40 39.6%	30 29.7%	7 6.9%	6 5.9%	101 100.0%	3.56
知的障害	施設長	24 19.7%	49 40.2%	29 23.8%	9 7.4%	11 9.0%	122 100.0%	3.54
	職員	26 19.4%	52 38.8%	44 32.8%	10 7.5%	2 1.5%	134 100.0%	3.67
精神障害	施設長	27 29.7%	44 48.4%	11 12.1%	7 7.7%	2 2.2%	91 100.0%	3.96
	職員	22 21.4%	51 49.5%	22 21.4%	5 4.9%	3 2.9%	103 100.0%	3.82
合計		149 23.1%	266 41.2%	158 24.5%	44 6.8%	29 4.5%	646 100.0%	3.72

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 65.3%、職員 57.4%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 11.6%、職員 12.9%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 59.8%、職員 58.2%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 16.4%、職員 9.0%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 78.0%、職員 70.9%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 9.9%、職員 7.8%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

3. 社会的自立とは、自らの生活に影響を受ける諸政策、制度・サービスを選択することである。

障害種別	職種	回 答					合 計	平均値
		(1)点 「そう思う」	(2)点 「どちらかといえば そう思う」	(3)点 「どちらかといえば そう思わない」	(4)点 「どちらかといえば そう思わない」	(5)点 「そう思わない」		
身体障害	施設長	27 28.7%	39 41.5%	19 20.2%	7 7.4%	2 2.1%	94 100.0%	3.87
	職員	18 17.8%	46 45.5%	27 26.7%	5 5.0%	5 5.0%	101 100.0%	3.66
知的障害者	施設長	17 13.7%	59 47.6%	34 27.4%	10 8.1%	4 3.2%	124 100.0%	3.60
	職員	13 9.8%	62 46.6%	46 34.6%	9 6.8%	3 2.3%	133 100.0%	3.55
精神障害	施設長	23 25.3%	46 50.5%	18 19.8%	3 3.3%	1 1.1%	91 100.0%	3.96
	職員	16 15.4%	47 45.2%	30 28.8%	9 8.7%	2 1.9%	104 100.0%	3.63
合 計		114 17.6%	299 46.2%	174 26.9%	43 6.6%	17 2.6%	647 100.0%	3.70

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 70.2%、職員 63.4%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 9.6%、職員 9.9%であった。ともに「そう思う」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 61.3%、職員 56.4%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 11.3%、職員 9.0%であった。ともに「そう思う」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 75.8%、職員 60.6%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 4.4%、職員 10.6%であった。ともに「そう思う」という傾向の回答割合が高かった。

4. 社会的自立とは、自らの生活に影響を与える政策やサービスの計画立案、決定、管理運営の過程に参加することである。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		(5)点 「そう思う」	(4)点 「どちらかといえば そう思う」	(3)点 「どちらかといえば そう思わない」	(2)点 「そう思わない」	(1)点 「そう思わない」		
身体障害	施設長	24 25.3%	31 32.6%	23 24.2%	10 10.5%	7 7.4%	95 100.0%	3.58
	職員	18 17.8%	33 32.7%	35 34.7%	10 9.9%	5 5.0%	101 100.0%	3.49
知的障害	施設長	17 13.6%	61 48.8%	31 24.8%	9 7.2%	7 5.6%	125 100.0%	3.58
	職員	16 12.0%	45 33.8%	54 40.6%	10 7.5%	8 6.0%	133 100.0%	3.38
精神障害	施設長	21 23.1%	31 34.1%	32 35.2%	5 5.5%	2 2.2%	91 100.0%	3.70
	職員	11 10.6%	33 31.7%	45 43.3%	10 9.6%	5 4.8%	104 100.0%	3.34
合 計		107 16.5%	234 36.1%	220 33.9%	54 8.3%	34 5.2%	649 100.0%	3.50

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 57.9%、職員 50.5%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 17.9%、職員 14.9%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 62.4%、職員 45.9%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 12.8%、職員 13.5%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 57.1%、職員 42.3%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 7.7%、職員 14.4%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

V. 生活スタイルにおける自立について

1. 生活スタイルにおける自立とは、自分に合った生活スタイルを決定することである。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		(5点) そう思う	(4点) そう思う	(3点) どちらかといえば そう思う	(2点) そう思わない	(1点) そう思わない		
身体障害	施設長	34 35.8%	40 42.1%	16 16.8%	4 4.2%	1 1.1%	95 100.0%	4.07
	職員	29 28.7%	52 51.5%	17 16.8%	2 2.0%	1 1.0%	101 100.0%	4.05
知的障害	施設長	33 26.4%	68 54.4%	22 17.6%	1 0.8%	1 0.8%	125 100.0%	4.05
	職員	28 20.9%	82 61.2%	18 13.4%	3 2.2%	3 2.2%	134 100.0%	3.96
精神障害	施設長	33 36.7%	39 43.3%	14 15.6%	3 3.3%	1 1.1%	90 100.0%	4.11
	職員	22 21.4%	63 61.2%	13 12.6%	4 3.9%	1 1.0%	103 100.0%	3.98
合 計		179 27.6%	344 53.1%	100 15.4%	17 2.6%	8 1.2%	648 100.0%	4.03

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 77.9%、職員 80.2%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 5.3%、職員 3.0%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 80.8%、職員 82.1%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 1.6%、職員 4.5%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 80.0%、職員 82.5%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 4.4%、職員 4.9%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

2. 生活スタイルにおける自立とは、自分で自分の生活の場を維持していこうとすることである。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		(ア) そう思う	(イ) どちらかといえばそう思う	(ウ) どちらかといえばそう思わない	(エ) そう思わない	(オ) そう思わない		
身体障害	施設長	16 16.8%	44 46.3%	20 21.1%	9 9.5%	6 6.3%	95 100.0%	3.58
	職員	11 10.9%	51 50.5%	25 24.8%	6 5.9%	8 7.9%	101 100.0%	3.50
知的障害	施設長	25 20.0%	58 46.4%	29 23.2%	11 8.8%	2 1.6%	125 100.0%	3.74
	職員	20 14.9%	65 48.5%	42 31.3%	6 4.5%	1 0.7%	134 100.0%	3.72
精神障害	施設長	28 30.8%	35 38.5%	18 19.8%	6 6.6%	4 4.4%	91 100.0%	3.85
	職員	17 16.5%	43 41.7%	30 29.1%	8 7.8%	5 4.9%	103 100.0%	3.57
合 計		117 18.0%	296 45.6%	164 25.3%	46 7.1%	26 4.0%	649 100.0%	3.67

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 63.2%、職員 61.4%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 15.8%、職員 13.9%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 66.4%、職員 63.4%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 10.4%、職員 5.2%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 69.2%、職員 58.3%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 11.0%、職員 12.6%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

3. 生活スタイルにおける自立とは、生活の質を向上させるために生活の状況を改良し、適切な生活を創り出すことである。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		そう思う (5点)	どちらかといえば そう思う (4点)	どちらかといえば そう思わない (3点)	どちらかといえば そう思わない (2点)	そう思わない (1点)		
身体障害	施設長	27 28.1%	47 49.0%	19 19.8%	1 1.0%	2 2.1%	96 100.0%	4.00
	職員	18 18.0%	47 47.0%	28 28.0%	6 6.0%	1 1.0%	100 100.0%	3.75
知的障害	施設長	24 19.4%	72 58.1%	24 19.4%	3 2.4%	1 0.8%	124 100.0%	3.93
	職員	25 19.1%	69 52.7%	33 25.2%	4 3.1%	0 0.0%	131 100.0%	3.88
精神障害	施設長	28 30.8%	35 38.5%	24 26.4%	4 4.4%	0 0.0%	91 100.0%	3.96
	職員	19 18.4%	48 46.6%	29 28.2%	5 4.9%	2 1.9%	103 100.0%	3.75
合計		141 21.9%	318 49.3%	157 24.3%	23 3.6%	6 0.9%	645 100.0%	3.88

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 77.1%、職員 65.0%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 3.1%、職員 7.0%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 77.4%、職員 71.8%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 3.2%、職員 3.1%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 69.2%、職員 65.0%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 4.4%、職員 6.8%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

4. 生活スタイルにおける自立とは、親との同居や施設での生活ではなく、アパートなどを借りるなどして独立した生活を送ることである。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		(3)点 「そう思う」	(4)点 「どちらかといえば そう思う」	(5)点 「どちらかといえば そう思う」	(2)点 「そう思わない」	(1)点 「そう思わない」		
身体障害	施設長	8 8.4%	15 15.8%	31 32.6%	17 17.9%	24 25.3%	95 100.0%	2.64
	職員	2 2.0%	9 8.9%	31 30.7%	26 25.7%	33 32.7%	101 100.0%	2.22
知的障害	施設長	6 4.8%	16 12.9%	57 46.0%	23 18.5%	22 17.7%	124 100.0%	2.69
	職員	3 2.3%	19 14.3%	49 36.8%	29 21.8%	33 24.8%	133 100.0%	2.47
精神障害	施設長	5 5.5%	12 13.2%	36 39.6%	16 17.6%	22 24.2%	91 100.0%	2.58
	職員	0 0.0%	8 7.8%	29 28.4%	40 39.2%	25 24.5%	102 100.0%	2.20
合 計		24 3.7%	79 12.2%	233 36.1%	151 23.4%	159 24.6%	646 100.0%	2.47

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 24.2%、職員 10.9%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 43.2%、職員 58.4%であった。ともに「そう思わない」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 17.7%、職員 16.5%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 36.3%、職員 46.6%であった。ともに「そう思わない」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 18.7%、職員 7.8%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 41.8%、職員 63.7%であった。ともに「そう思わない」という傾向の回答割合が高かった。

VI. 自己実現としての自立について

1. 自己実現としての自立とは、一個人として生活・人生の主人公となることである。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		(5点) そう思う	(4点) そう思う どちらかといえば	(3点) どちらかといえば そう思う	(2点) そう思わない どちらかといえば	(1点) そう思わない		
身体障害	施設長	30 31.6%	37 38.9%	17 17.9%	4 4.2%	7 7.4%	95 100.0%	3.83
	職員	28 28.0%	39 39.0%	27 27.0%	3 3.0%	3 3.0%	100 100.0%	3.86
知的障害	施設長	52 41.6%	48 38.4%	15 12.0%	9 7.2%	1 0.8%	125 100.0%	4.13
	職員	50 37.3%	48 35.8%	28 20.9%	6 4.5%	2 1.5%	134 100.0%	4.03
精神障害	施設長	37 40.7%	25 27.5%	18 19.8%	9 9.9%	2 2.2%	91 100.0%	3.95
	職員	28 27.2%	46 44.7%	25 24.3%	3 2.9%	1 1.0%	103 100.0%	3.94
合計		225 34.7%	243 37.5%	130 20.1%	34 5.2%	16 2.5%	648 100.0%	3.97

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 70.5%、職員 67.0%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 11.6%、職員 6.0%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 80.0%、職員 73.1%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 8.0%、職員 6.0%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 68.1%、職員 71.8%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 12.1%、職員 3.9%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

2. 自己実現としての自立とは、自らの生活の主体者として自己形成を行っていくことである。

障害種別	職種	回 答					合 計	平均得点
		(5) 点 そう思う	(4) 点 そう思う	(3) 点 どちらかといえば そう思う	(2) 点 そう思わない	(1) 点 そう思わない		
身体障害	施設長	35 36.8%	46 48.4%	11 11.6%	2 2.1%	1 1.1%	95 100.0%	4.18
	職員	31 31.0%	47 47.0%	21 21.0%	0 0.0%	1 1.0%	100 100.0%	4.07
知的障害	施設長	40 32.0%	58 46.4%	22 17.6%	5 4.0%	0 0.0%	125 100.0%	4.06
	職員	43 32.1%	62 46.3%	27 20.1%	1 0.7%	1 0.7%	134 100.0%	4.08
精神障害	施設長	34 37.4%	40 44.0%	13 14.3%	3 3.3%	1 1.1%	91 100.0%	4.13
	職員	23 22.3%	58 56.3%	19 18.4%	2 1.9%	1 1.0%	103 100.0%	3.97
合 計		206 31.8%	311 48.0%	113 17.4%	13 2.0%	5 0.8%	648 100.0%	4.08

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 85.3%、職員 78.0%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 3.2%、職員 1.0%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 78.4%、職員 78.4%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 4.0%、職員 1.5%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 81.3%、職員 78.6%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 4.4%、職員 2.9%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

3. 自己実現としての自立とは、生活を自ら決定し、制御し、充実した自己実現を求めて努力することである。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		(5) (強) そう思う	(4) (強) そう思う	(3) (中) どちらかといえばそう思う	(2) (弱) そう思う	(1) (弱) そう思う		
身体障害	施設長	39 40.6%	40 41.7%	12 12.5%	5 5.2%	0 0.0%	96 100.0%	4.18
	職員	22 22.2%	50 50.5%	25 25.3%	1 1.0%	1 1.0%	99 100.0%	3.92
知的障害	施設長	43 34.4%	54 43.2%	25 20.0%	3 2.4%	0 0.0%	125 100.0%	4.10
	職員	34 25.4%	68 50.7%	28 20.9%	4 3.0%	0 0.0%	134 100.0%	3.99
精神障害	施設長	33 36.7%	36 40.0%	12 13.3%	7 7.8%	2 2.2%	90 100.0%	4.01
	職員	20 19.4%	50 48.5%	23 22.3%	7 6.8%	3 2.9%	103 100.0%	3.75
合 計		191 29.5%	298 46.1%	125 19.3%	27 4.2%	6 0.9%	647 100.0%	3.99

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 82.3%、職員 72.7%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 5.2%、職員 2.0%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 77.6%、職員 76.1%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 2.4%、職員 3.0%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 76.7%、職員 68.0%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 10.0%、職員 9.7%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

4. 自己実現としての自立とは、主体的に自己の生活を形成し、自己実現をはかっていこうとすることである。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		(3点) そう思う	(4点) どちらかといえば そう思う	(5点) どちらかといえば そう思う	(2点) そう思わない	(1点) そう思わない		
身体障害	施設長	33 34.4%	47 49.0%	14 14.6%	1 1.0%	1 1.0%	96 100.0%	4.15
	職員	24 24.5%	55 56.1%	18 18.4%	0 0.0%	1 1.0%	98 100.0%	4.03
知的障害	施設長	43 34.4%	55 44.0%	22 17.6%	4 3.2%	1 0.8%	125 100.0%	4.08
	職員	29 21.8%	79 59.4%	23 17.3%	1 0.8%	1 0.8%	133 100.0%	4.01
精神障害	施設長	30 33.0%	42 46.2%	14 15.4%	3 3.3%	2 2.2%	91 100.0%	4.04
	職員	24 23.1%	57 54.8%	19 18.3%	3 2.9%	1 1.0%	104 100.0%	3.96
合 計		183 28.3%	335 51.8%	110 17.0%	12 1.9%	7 1.1%	647 100.0%	4.04

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 83.3%、職員 80.6%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 2.1%、職員 1.0%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 78.4%、職員 81.2%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 4.0%、職員 1.5%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 79.1%、職員 77.9%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 5.5%、職員 3.8%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。